



10月5日、瀬棚港東岸壁及び同海岸付近海域を会場に、瀬棚港総合防災訓練が実施されました。

この訓練は瀬棚海上保安署が関係機関に協力を呼びかけ、自然災害などを想定し毎年行っているものです。

今年の訓練は合併後初の総合防災訓練となることから、瀬棚港における救難防災体制の更なる構築を図るため、函館方面せたな警察署及びせたな町立瀬棚小学校の訓練参加協力を得て、より実践に即した内容での訓練となりました。

編集後記

▼今回の11月号が最後の広報編集となりました。2年7か月間の短い間でしたが、いろいろな人との出会いや、さまざまな貴重な経験をさせていただき、忘れることのできない思い出が沢山できました。情報提供や取材協力など手助けをしていただいた皆さまに深く感謝いたします。本当ありがとうございます。後任は乾美知子さんです。今後とも協力をいただけますようお願いいたします。(S)

▼瀬棚港総合防災訓練(上写真)では、海で目印などに使う蛍光塗料(ハスクリン)みたいなものが風下にいたため全身にかかり、涙から鼻水までが緑色に…。そんな私はさておき、ヘリなど各関係機関が連携した訓練はさすがに迫力満点で、白煙の中、小学生も頑張って避難してましたよ！今回でSさんが異動され、広報スタッフもまた新しい体制となりますが、連携を密にしながら頑張っていきたいと思います。よろしくお願いします。(O)

▼今、国勢調査の審査でいっぱいいっぱいの日々を過ごしています。皆様のご協力のおかげで調査票がすべて提出されました。ありがとうございました。そんな中、我々のSさんが異動で旅立ってしまいました。Sさん何年いたんですか？俺も先に旅立つなんて…。Sさんどうもお世話になりました。(M)

